

福祉サービス第三者評価結果

事業所名	社会福祉法人 庄内厚生館 庄内厚生館 共同生活援助事業 グループホーム
------	---

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターおおいた

②第三者評価実施期日

令和7年3月11日

③事業者情報

名 称：社会福祉法人 庄内厚生館 庄内厚生館 共同生活援助事業 グループホーム	種 別：共同生活援助
代表者氏名：理事長 伊藤 秀海	定員（利用人数）33名（28名）
所在地：〒879-5406 由布市庄内町西長宝1352番地 TEL：097-582-0121	

④総評

◇評価の高い点

【福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。】
4部門、18事業経営を行っている。法人は、福祉サービスの質の向上に向けた取組として、全事業所共通様式の「施設を取り巻く現状と課題、施設の実施施策と取組の方向性等」について、中・長期、単年度計画を策定している。進捗管理、評価については、法人本部、園長会、法人専門委員会、施設内委員会、各事業所により、組織的に実行されている。

【福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。】
管理者は、福祉サービスの質の向上のため、共同生活援助事業グループホーム内に職員と協働して、行事委員会、研修委員会を立ち上げるなど体制を構築している。サービスの質の現状把握、職員意見の確認、協議・検討を行い、課題となっている高齢化・重度化する利用者へのサービスについて、基本的行動となる「介助マニュアル」を策定し、支援の標準化をめざす取組に積極的に参画している。

【利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。】
利用者満足調査は、年度末にアンケートを定期的の実施している。利用者参画のもとで担当職員、サービス管理責任者等により開催する6ヵ月毎の個別支援会の場においても、利用者満足等を把握し、協議を行い個別支援計画に反映している。特に、施設は小規模事業所であるため、日常的な言葉かけを積極的に行い、生活の場面ごとに利用者の満足の把握を行っている。行事委員会は、把握した結果を分析・検討の結果にもとづいて、個別に対応した市内・外へのお出かけ、調理、創作活動を計画するなど、具体的な改善を行っている。

【利用者の自己決定を尊重した個別支援と取組を行っている】

利用者一人ひとりの趣味・思考に合わせた休日活動（休日の散歩、畑作業、花の手入れ等）を行っている。また、日常生活上においても衣服・食事・居室環境・個人で使用する椅子やソファーに至るまで自己決定と自己選択を尊重している。

上記に伴う、困難な課題においては、会議や個人との話し合いを通じて、できる限り自由な取組と要望に沿える形を目指している。

【個別支援計画にもとづく日中活動と利用支援等を行っている】

令和5年度以降、四季の行事や余暇活動、レクリエーション（調理、創作活動、外出）の充実を図っている。

また、地域の催し物にも積極的な参加を促進している。

外部型については、余暇活動は基本自由であり、ほとんどの利用者が休日を利用し外出や趣味の時間を有意義に過ごしている。

◇改善を求められる点

【安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。】

令和6年度事業計画、2 施設の実施策と取組の方向性の中には、現状と課題として、安全対策については、ヒヤリハットの取組についての浸透ができていないと分析し「安全安心な生活に向けたリスクマネジメントの強化」が実施施策として計画されている。取組の方向としている内部研修を通して、ヒヤリハットの理解を深めることを期待する。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

当事業所として、更なるサービスの質の向上を目指して、今回初めて第三者評価を受審しました。第三者評価を受審することで、改めて振り返るきっかけとなったこと、客観的評価のもと具体的な課題が明らかになったことなど、改善に繋げる気付きとなりました。今回の評価を受け、今後のサービスの改善に向け取り組んでいきたいです。これからも法人理念である「共歩・共笑・共育」を念頭に置きながら、職員の良い職場環境の整備（職員満足度の向上）とともに、ご利用者の充実した地域生活（利用者満足度の向上）に向け取り組んでいきます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果（別紙）